

能楽学会
■第29回 能楽フォーラム■

近代の演能空間①
—「能楽堂」の時代—

近代に入ると、能楽をめぐる環境は大きく変化し、役者と観客の新しい関係が始まりました。その中で演能と鑑賞の空間として生み出されたのが「能楽堂」でした。従来から能楽が盛んであった関西でも、能楽堂を中心に様々な場で能楽や素謡の上演が行なわれていきました。

今回の能楽フォーラムでは、明治から戦後にかけて、演能に際してどのような空間が選ばれ、どのように成長していったのか、皆さんとともに考えてみたいと思います。

第1部 13時00分～14時40分

【基調講演】「演能空間から劇場建築へ —近代世界の中の能楽堂—」

奥富 利幸氏（近畿大学教授）

司会 中嶋 謙昌氏（灘高等学校教諭）

第2部 15時00分～17時00分

【報告①】「明治・大正期の京都における素謡の場」

中尾 薫氏（大阪大学准教授）

【報告②】「近代神戸の演能空間 —上田隆一の能楽普及活動を中心に—」

大山 範子氏（神戸女子大学古典芸能研究センター非常勤研究員）

【パネルディスカッション】奥富利幸氏、大山範子氏、中尾薫氏、中嶋謙昌氏

日時：平成29年12月23日（土・祝） 13時00分～17時00分（開場12時30分）

会場：灘高等学校 大講義室 〒658-0082 神戸市東灘区魚崎北町8丁目5番1号

（JR神戸線「住吉」駅から東へ徒歩約10分、阪神電鉄「魚崎」駅から北へ徒歩15分）

参加費：500円（資料代） * 能楽学会会員は無料。事前の申込み不要。どなたでもご参加いただけます。

問合せ先（Mail）：nohaku_forum@zoho.com

（Tel）：灘高等学校 078-411-7234（代）担当：中嶋

主催：能楽学会